

芳賀赤十字病院理念

地域に貢献する病院

県東保健医療圏（真岡市、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町）における唯一の公的病院として、急性期医療・救急医療を担い、地域住民の生命と健康を守る病院とする。さらに、県東保健医療圏における医療ネットワークの中核病院として、地域住民及び医療・保健・福祉の関係機関との連携を強化し、「地域完結型医療」の構築を図る。



地域完結型医療の構築

県東保健医療圏のさらなる病診連携の強化を図り、回復期リハビリテーション病棟を40床整備。CT・MRI・描出力の優れたマンモグラフィーを備え診療能力を向上



周産期医療の充実

医療機器の整備やアメニティの充実を図り、安全・安心な出産の確保、妊産婦に優しい療養環境を整備

病院の機能



感染症医療の対応

県東保健医療圏の第二種感染症指定医療機関として、感染症病床（4床）を設置



救急医療の充実・災害拠点病院としての役割

県東保健医療圏唯一の二次救急医療機関として、三次救急医療機関も想定した整備。HCU・救急病棟を整備。災害拠点病院として免震構造を採用。施設・設備（ヘリポート・免震構造・講堂）等の機能強化

基本方針

1. 患者中心の医療
2. 安全で質の高い医療
3. 赤十字の使命に基づいた社会貢献
4. 救急医療の充実
5. チーム医療の推進
6. 職員満足度の向上
7. 健全経営

病院の特長

患者さんに配慮した「1階ワンフロア外来」

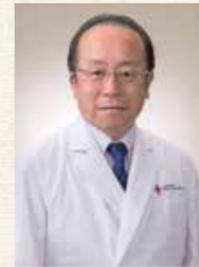
外来診療にかかわる部門を全て1階に集約化！
● 外来診察室と検査及び画像診断など、外来診療にかかわる部門を全て1階に集約し、高齢の方にもわかりやすく、上下移動の少ない外来。

医療の効率化を図る「ワンフロア3看護単位の入院病棟」

患者さんを見守りやすく、すぐに駆けつけられる病棟！
● 関連性の強い部門を同じフロアに配置し、患者さんやスタッフの上下移動を少なくし医療を効率化。
● 十字型平面の3看護単位とし、移動を最短化し、スタッフステーションから見守りやすい病棟。

救急医療の充実、災害拠点病院としての機能強化、がん診療体制の充実

救急病床やヘリポートの設置、災害に強い病院！
● 県東保健医療圏で唯一の二次救急告示病院として年間4,000台を超える救急車を受け入れ。
● 救急専用エレベーターでヘリポートと救急外来、手術室を直結し、救急医療を充実・迅速化。
● 災害に強い病院として、免震構造を採用し、被災により受傷された方を受け入れることができる講堂等の設置。災害拠点病院としての役割を果たす。
● 地域がん診療病院として県東医療保健医療圏のがん診療体制の充実を図る。



院長：本多 正徳

芳賀赤十字病院は1922年(大正11年)に設立された芳賀病院に始まり、1949年(昭和24年)に現在の日本赤十字社栃木支部芳賀赤十字病院となりました。真岡市台町の地で長年にわたり急性期医療を中心に医療を展開してまいりましたが、東日本大震災後、耐震性の向上が望まれ、2018年12月に真岡市中郷の地に新病院を竣工し、2019年3月に364床の新病院として再出発いたしました。

当院は真岡市・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町の一市四町で構成される県東保健医療圏の地域中核病院として、また、年間4,000台を超える救急車を受け入れる医療圏を代表する二次救急医療機関としてこれまで地域と共に歩んでまいりました。

これからも二次救急医療を中心とした急性期医療に対応するのみならず、併設されている地域周産期母子医療センターの機能を十分に活用し、緊急母体搬送受け入れや新生児治療にも積極的に力を注いでまいります。2016年に開設した回復期リハビリテーション病棟の効率的運用により、患者さんの在宅復帰支援の向上を目指すとともに、急速に進む高齢化に向けて設置された認知症疾患医療センターの機能を存分に発揮し、今後増加が予想される認知症疾患にも充分に対応してまいります。

また、がん医療に関しても地域がん診療病院としてこれまで同様、積極的にかかわってまいります。更に訪問看護ステーションを通じて在宅医療にも力を注いでまいります。2020年12月に訪問看護ステーション茂木事業所を開設し、本院事業所と茂木事業所共に訪問リハビリテーションの機能を持たせ、更に充実した在宅医療を目指してまいります。

当院は、診療のみならず教育にも力を注いでおり、臨床研修指定病院として若い医師の育成に励むと共に、多職種の学生実習を広く受け入れ、これから日本の医療を支えていく人々への医学教育にも積極的に取り組んでまいります。

人道・博愛といった赤十字精神に基づく病院として、これまで鬼怒川水害や熊本地震などの自然災害に対して日赤救護班の派遣を積極的に行ってまいりましたが、今後も災害拠点病院・DMAT指定病院としてさらなる貢献を目指してまいります。

今後も「地域に貢献する病院」の理念のもと、地域医療支援病院として県東保健医療圏の医療の充実に務め、安全で満足度の高い医療を提供し、皆さまにかかってよかったと思って頂けるような選ばれる病院をめざし、全職員が一丸となり病院運営に一層努力してまいります。皆さまのご支援を宜しくお願い申し上げます。

名称	芳賀赤十字病院
創立	1949年(昭和24年7月1日)
院長	本多 正徳
所在地	〒321-4308 栃木県真岡市中郷271 TEL:0285-82-2195(代)
病床数	364床 一般病床:360床(うち回復期リハビリテーション病床:40床)・感染症病床:4床
標榜診療科	内科、脳神経内科、リウマチ科、腎臓内科、呼吸器内科、アレルギー科、消化器内科、循環器内科、血液内科、小児科、外科、小児外科、形成外科、乳腺科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、救急科、精神科、歯科、歯科口腔外科
診療受付	午前8時30分～
休診日	日曜日、祝祭日、年末年始(12月29日～1月3日)、創立記念日(7月1日)、毎月第2・第4・第5土曜日
外来駐車場	398台(おもいやり駐車場15台含)

芳賀郡市1市4町



芳賀赤十字病院の特徴



救急医療体制

当院は、関東保健医療圏において唯一の二次救急医療病院です。年間4,000台を超える救急車を受け入れており、栃木県内でも有数の多さです。また、屋上にヘリポートを備え、防災ヘリ・ドクターヘリの受け入れ体制も整備するなど二次救急医療病院としての救急医療を提供しています。



二次救急医療機関としての役割

軽症の患者さんに対する一次(初期)救急は、地域の医師会の先生方や真岡市休日夜間急患診療所と連携して診療にあたり、入院・手術を必要とし、重症であると診断された患者さんを原則として24時間体制で受け入れています。

母子周産期医療 地域周産期母子医療センター

栃木県の地域周産期母子医療センターに指定されています。ハイリスク妊産婦の受け入れ病院としての重要な役割を担っており、関東保健医療圏のみならず栃木県内外から多数の母体搬送を受け入れています。

産婦人科医と小児科医が連携し、24時間体制で周産期救急医療・新生児医療に対応しています。

地域とつながり、地域医療を守る

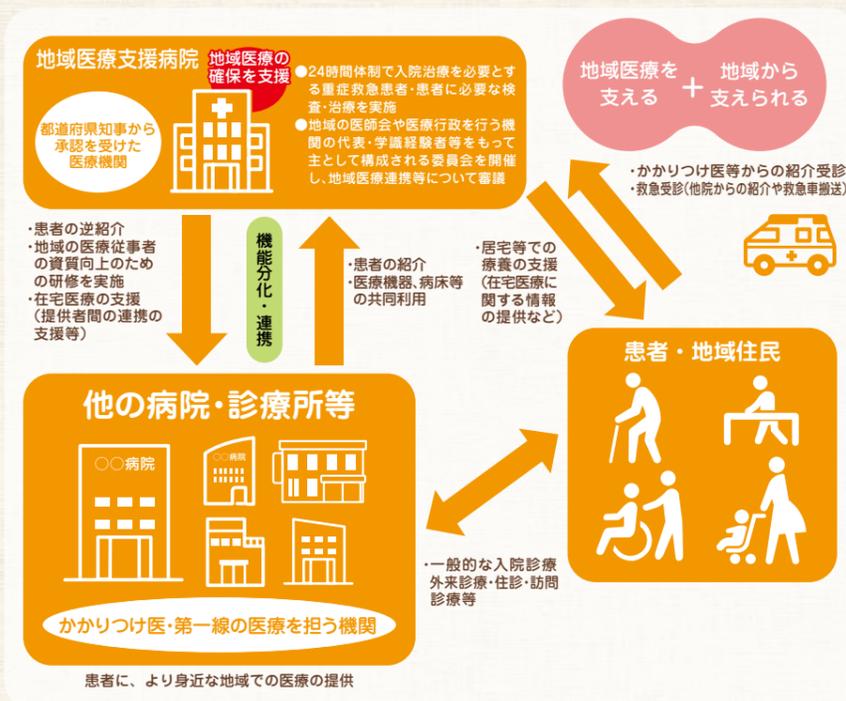


かかりつけ医の支援と機能分化

国の政策では、「医療は患者の身近な地域で提供されることが望ましい」との観点から、かかりつけ医を地域における第一線の医療機関として位置づけ、入院・手術などの設備を有する医療機関との機能分化を図っています。病院・診療所・クリニック等、それぞれが役割を分担して、病気の診断や治療、検査、健康相談等を行い、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持つ地域完結型の医療を目指しています。

地域医療支援病院 としての取り組み

地域医療支援病院は、「地域医療を支援すること」、「地域に支援されること」の2つを行う病院であると捉えています。救急医療や入院医療の質を高め、地域の皆様により良い医療を提供し、地域の医療機関から安心して患者さんをご紹介いただけるよう、また、当院で症状が安定した患者さんを紹介元の医療機関やかかりつけ医等へ積極的に逆紹介するよう努めています。



地域がん診療病院



がん診療連携拠点病院や地域の医療機関と連携し、患者さんにとって最善の医療を提供できるよう努めています。

寄り添う医療



地域がん診療病院
(芳賀赤十字病院)

連携



地域がん診療連携拠点病院
(自治医科大学附属病院)

- 地域がん診療連携拠点病院とグループ連携しています。
- 当院では、相談支援・緩和ケア・セカンドオピニオンなど、がんに関する支援体制を整えています。多職種がチームとなり患者さんご家族を支援いたします。



患者さんご家族



POINT 1
患者支援センター

患者さんとそのご家族、地域の医療機関のニーズに合わせ、各分野において相談支援体制の充実に向け取り組んでいます。病気に起因するさまざまな問題や悩み事、日常での困り事などについて、各分野の相談員たちが皆さまの話を伺い、解決に向けサポートしています。



POINT 2
がん相談支援センター

「がんに関する相談窓口」です。患者さんやご家族、地域の方々の不安や悩み、がんに伴う症状や副作用・日常生活についてがん相談員(看護師・社会福祉士・公認心理師)がサポートします。どなたでもご利用いただけますので、お気軽にご相談ください。

POINT 3
認知症疾患医療センター

相談員が、患者さんやご家族の認知症に関する相談に対応しますので、お気軽にご相談ください。地域の行政・福祉など各関連機関と連携を図り、認知症の患者さんやご家族が地域で安心して生活できるよう取り組んでいます。



化学療法室



抗がん剤ミキシング業務



手術室

訪問医療

在宅医療 訪問看護ステーション

地域の医療機関や介護事業者の方々と連携・協力しながら、患者さんが住み慣れた地域やご家庭で安定して療養生活を続けられるようサポート。看護師が、患者さんの生活の場を訪問し、的確なアセスメントに基づいたケアとアドバイスで、自立した生活が送れるよう支援します。2020年12月茂木町にサテライトを開設しました。本院、サテライトともに理学療法士による訪問看護にてリハビリを行っています。



回復期リハビリテーション病棟



リハビリ室

回復期リハビリテーション病棟とは、骨折や脳卒中などの急性期治療を終えた患者さんを対象に自宅や社会に戻ってからの生活を少しでも元の状態に近づけるためのリハビリテーションを専門に提供する病棟です。

当病棟では医師・看護師・介護福祉士・リハビリテーションスタッフなど、各専門領域のスタッフが協力して患者さんの一日でも早い在宅復帰、社会復帰を支援します。



リハビリ室

チーム医療

医師や看護師をはじめ、薬剤師・管理栄養士・公認心理師・リハビリスタッフなど、様々な医療スタッフが、互いの専門性を活かしチームで治療にあたります。

それぞれが最大限の能力を発揮し、互いに連携し情報の共有を図り、患者さんにとってもっとも良い医療を提供します。



医療スタッフの育成



人材育成 臨床研修医をはじめとする医療スタッフ



研修医

臨床研修指定病院として、臨床研修医の育成に取り組んでいます。教育推進室のスタッフを中心に、院内全体で貴重な初期臨床研修の2年間をサポート！また自治医科大学医学生の実習を多く受け入れ、若い医師の育成に尽力しています。



実習受入状況

医師・看護師・コメディカル・事務など多職種にわたり、関連学生の実習を受け入れています。

- 自治医科大学
 - 報徳看護専門学校
 - マロニエ医療福祉専門学校
 - 栃木医療センター附属看護学校
 - 国際医療福祉大学
 - 栃木県立衛生福祉大学校
 - 国際ティビシィ小山看護専門学校
- など

4階スタッフラウンジ

4階にはスタッフラウンジがあり、24時間休憩できるスペースとなります。昼食時は週替わりの食事メニューで栄養バランスのとれた食事をとることができます。その他、打ち合わせ等にも利用することができ、職員が集まるコミュニケーションの場でもあります。



国内災害救援

医療救護班が、ただちに被災地へ

迅速な応急的災害医療の提供

災害救護 赤十字の活動

日本赤十字社の災害救護活動は、災害の発生直後から被災者の自立の見通しが立つまでの間、災害の特性や被災者のニーズ等を踏まえて実施しています。

その災害救護活動を円滑に実施するため、すべての職員に対し初動活動の重要性及び活動内容等の研修や訓練を実施しています。

これらの研修や訓練を重ね、大規模災害時に医療救護班を迅速に派遣出来るように、常備救護班を3個班編成しています。



常備救護班訓練



栃木県総合防災訓練

災害拠点病院・DMAT指定病院

栃木県における災害拠点病院に指定されており、災害発生時には関係機関と協議し、医療救護活動にあたります。

県内外の地震・台風などの自然災害や、航空機・列車事故等の大規模な事故等が発生した場合に、栃木県知事の要請により、被災した地域へDMAT(災害派遣医療チーム)を派遣し、被災地の医療支援を行います。

DMATは、医師1名・看護師2名・調整員2名で構成するチームで2チーム編成しています。



近年の災害活動実績

●東日本大震災(2011年3月)

震災直後より、日赤救護班及びDMATを被災地(東北地方)へ派遣。約半年間、日赤救護班を8個班派遣したほか、石巻赤十字病院の業務支援に看護師・薬剤師を派遣した。

●関東・東北豪雨災害(2015年9月)

茨城県常総市へ救護班を派遣。

●熊本地震災害(2016年4月)

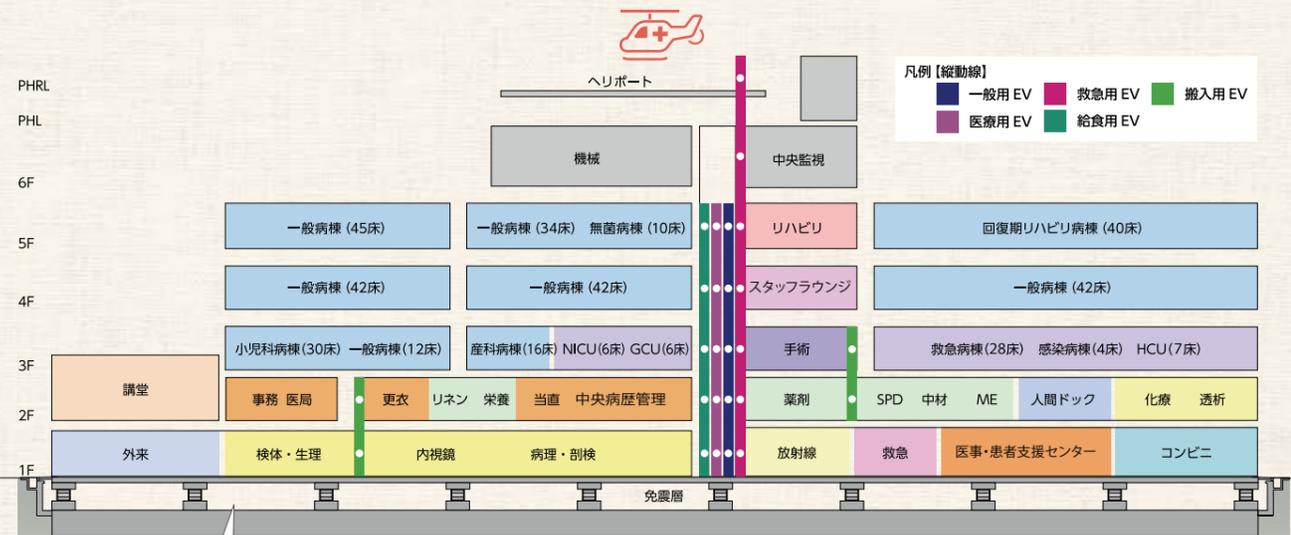
熊本県阿蘇郡西原村へ救護班を派遣。

●東日本台風(2019年10月)

千葉県館山市(安房地区)へ救護班を派遣



断面構成図



免震構造
 建物の基礎下に「免震装置」を設置し、地震時に免震装置が変形することで地震の揺れを吸収、建物に揺れが伝わりにくくする構造を採用します。



- 交通アクセス**
- お車をご利用の場合**
- 宇都宮中心部より 約40分
 - 北関東自動車道真岡I.Cより 約10分
- 電車をご利用の場合**
- 東京から 約180分
 上野(宇都宮線) → 小山(水戸線) (水戸線に乗り換え) → 下館(真岡鐵道に乗り換え) → 北真岡(駅より徒歩5分)
 - 東京から 約130分
 上野(宇都宮線) → 石橋(駅よりタクシーで30分)
 - 東京から 約90分
 東京(東北新幹線) → 宇都宮(駅よりタクシーで40分)

芳賀赤十字病院
 日本赤十字社
 Japanese Red Cross Society

〒321-4308 栃木県真岡市中郷271
 TEL 0285-82-2195(代表)
 FAX 0285-84-3332
<https://www.haga.jrc.or.jp/>



Design concept —デザインコンセプト—
 デザインコンセプトは「地域とのつながりとあたたかさ」です。随所に散りばめたイラストは、芳賀郡市1市4町の名物である真岡鐵道や特産物などをモチーフとしております。



地域に貢献する病院 芳賀赤十字病院